

庄内支部『症例検討会』報告

第3回庄内地区勉強会『症例検討会』報告

日時：平成 29 年 9 月 23 日（土）14：00～16：10

場所：庄内病院 3F 講堂

庄内支部では今年度も平成 29 年 9 月 23 日に症例検討会を庄内病院にて行いました。支部会員の皆様のご協力のもと 5 演題が集まり急性期から生活期までバラエティに富んだ内容となり 40 名の方にお集まりいただきました。

座長を佐藤恵太先生（湯田川温泉リハビリテーション病院）に務めて頂き、佐太木淳一先生（庄内病院）、本多敏樹先生（鶴岡協立病院）、佐藤美生先生（酒田医療センター）、工藤貴子先生（協立リハビリテーション病院）、蓬田佳帆先生（介護老人保健施設かけはし）の 5 名の先生方より発表していただきました。

発表に協力して頂いた先生方は先輩たちの指導のもと、臨床の現場で日々努力し吸収力の高い若手の先生方でした。資料作成や発表を通してより自身の症例と向き合うことができたのではないかと思います。また、今回お集まりいただいた先生方は急性期から生活期のそれぞれの分野で活躍されており、発表者への質疑は、様々な切り口からの見方や考え方を気付かせて下さる貴重な内容でした。理学療法士としてどのような関わりを行なったか、病棟の看護師と一緒に患者に関わる際、理学療法士としてどのような指導を看護師に行なったか、行うべきであったかなど発表者だけでなく聴講者にとっても非常に勉強になる症例検討会が行われたと思います。

今回の症例でも見られるように、近年、神経難病の患者様と関わる機会が増えています。また、そういった患者様が介護保険領域でリハビリを行う機会も増えています。それぞれの現場でより質の高い理学療法を提供できるよう、勉強会や症例検討会を通してお互いの経験を共有しながら多くの学びを得ることができるような会にこれからもしていきたいと思えます。

休日にお集まりいただいた参加者の皆様、大変お疲れ様でした。また、座長の湯田川温泉リハビリテーション病院の佐藤恵太先生をはじめ、発表して頂いた 5 名の先生方に深く感謝いたします。また、支部会員の皆様には今後ともご協力とご参加をお願いいたします。

（文責 中村千佳）

